

第30回 もも脳ネット 理事会（コアメンバー会議） 議事録

日時：平成29年11月14日（火）19:00~20:00

場所：川崎医科大学総合医療センター 5階カンファレンス室1

出席者：岡山医療センター（今川 MSW）

岡山赤十字病院（岩永医師 高木医師 中野 MSW 尾上事務 井上事務）

岡山ろうさい病院（片山医師 内田 MSW）

岡山市民病院（出口医師 梅田看護師）

岡山中央病院（平野医師）

岡山中央奉還町病院（小林医師 津田 PT 古田 MSW）

岡山光南病院（松井 Ns 平川 MSW）

岡山里ハビリテーション病院（森田医師 山崎 MSW）

岡山協立病院（藤井 PT）

津山第一病院（万代 PT 横山事務）

こうなんクリニック（西崎医師）

氏平医院（氏平医師）

岡山旭東病院（片岡 PT）

川崎医科総合医療センター（井上医師 鈴木 MSW 富田 MSW 潮 MSW
橋本 MSW 川上 MSW）

岡山市歯科医師会（角谷医師）

都窪歯科医師会（山本医師）

岡山県介護支援専門員協会（丸田 CM）

備前保健所保健課地域保健班（二宮所長 猪元課長 國富班長）

計 18 施設 36 名（敬省略・順不同）

議 事

1. 脳卒中地域連携普及推進強化事業について

- 岡山赤十字病院（岩永医師）より下記報告があった。
 - ・ 平成29年11月8日14時~16時30分 学びの館サエスタにてケアマネジャーや介護専門職を対象とした脳卒中地域連携講演会を開催した。雨天での開催であったが、参加者はスタッフを含めた160名と多数であった。
 - ・ 平成30年1月14日（日）に岡山市民会館にてワールドカフェ（午前）県民フォーラム（午後）の開催を予定している。午前のワールドカフェでは医療機関や居宅介護支援事業所などの多くの専門職で「各々の立場で日常の活動で困っている点」について話し合い、午後は市民向けに「治療から自宅退院までの流れ」について事例を用いて各関係機関スタッフが講演する予定としている。ワールドカフェに関しては、もも脳ネットのメーリングリストにて参加者を募集している。できるだけ多職種かつ急性期と回復期の比率が同じようになるようにしていきたいと考えている。また、もも脳ネット参加施設には、ワールドカフェへの参加と当日のスタッフについて依頼したいと考えている。
 - ・ よろず相談ブース（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフ）、栄養指導ブース、歯科ブース（歯科医師、歯科衛生士）を設けており、講演前にブースの紹介を行う予定としている。
 - ・ 平成30年1月14日（日）のチラシは最終校正中であり、できあがり次第、各機関に配布する予定である。

2. 大腿骨頸部骨折パスのファイル運用について

- ▶ 連携パスマニュアルについて川崎医科大学総合医療センター（井上医師）より下記報告があった。

前回の理事会で連携パスのマニュアルを作成するということになっていたため、事務局で脳卒中と大腿骨頸部骨折のパスマニュアルの変更を行った。

《脳卒中パス》

①3 ページ目の「連携パス」を「脳卒中 オーバービューパス」、「脳卒中連携情報提供書」を「脳卒中 医療者用パス」に変更

②13 ページ目の転帰先に「サービス付き高齢者向け住宅」を追加

③17 ページ目の「地域連携診療計画管理料」を「地域連携診療計画加算」、「川崎医科大学附属川崎病院」を「川崎医科大学総合医療センター」に変更

④19 ページ目の「対象症例は、全て脳卒中（頭部外傷を除く、虚血性・出血性脳および脊髄血管障害）。」を「対象症例は全ての脳卒中（頭部外傷を除く、急性発症又は急性増悪した脳梗塞（一過性脳虚血発作を含む）、脳出血、又はくも膜下出血の治療を実施している場合）とする。」に変更

《大腿骨頸部骨折パス》

①3 ページ目の「患者説明用オーバービューパス」を「大腿骨頸部骨折地域連携診療計画書（オーバービューパス）」、「大腿骨頸部骨折連携情報提供書」を「医療用パス（電子ファイル）」に変更

②11 ページ目の転帰先に「サービス付き高齢者向け住宅」を追加

③14 ページ目の「地域連携診療計画管理料」を「地域連携診療計画加算」に変更

④15 ページ目の「川崎医科大学附属川崎病院」を「川崎医科大学総合医療センター」、「③患者用ファイルの作成」を追加

⑤16 ページ目の「対象症例は大腿骨頸部・転子部骨折で手術治療を受け、連携先に転院してリハビリテーションを受ける全ての患者」を「対象症例は、大腿骨頸部骨折の手術（大腿骨頸部骨折骨接合術、大腿骨頸部骨折人工関節置換術など）を実施しており、連携先に転院してリハビリテーションを受ける全ての患者とする。」に変更、「術後の経過観察・合併症のチェックを行い、問題がなければ転院の準備を進める。転院相談時に連携情報提供書を完成させ、印刷し転院先へ送る。」を削除、急性期病院入院時の手順D)へ「転院先にて大腿骨のファイルを主治医に渡すように説明する。」を追加

⑥17 ページ目の回復期病院入院時の手順などC)へ「転院先にて大腿骨のファイルを主治医に渡すように説明する。」を追加、「定期検討事項の欄」を「最新のパス集計表」に変更

《脳卒中パス・大腿骨頸部骨折パスの両方》

転院相談を行う際に医療者用パスを利用して相談を行っている医療機関と診療情報提供書を利用して相談を行っている医療機関があるため、連携パスのマニュアルから「術後の経過観察・合併症のチェックを行い、問題がなければ転院の準備を進める。転院相談時に連携情報提供書を完成させ、印刷し転院先へ送る。」を削除した。

- ▶ 理事より下記意見があった。

患者は連携パスファイルを病院の物だと思っているため、患者自身の物であることを病院側から伝えてもらいたい。また、その旨を連携パスのマニュアルに追加してもらいたい。

- ▶ 連携パスのマニュアルについて理事に内容を確認してもらい、内容の追加や変更があればメールで連絡し

てもらったこととなった。(期限は11月30日まで) その内容も含め、平成28年12月20日(水)の運用総会で連携パスのマニュアルについて最終確認を行う予定である。

【今後の会議日程】

・第48回もも脳ネット運用会議(運用総会)

日時:平成28年12月20日(水)19:00

場所:岡山医療センター

幹事病院:岡山医療センター

第31回 理事会

日時:平成29年2月20日(火)19:00

場所:川崎医科大学総合医療センター 5階カンファレンス室1

(書記 川崎医科大学総合医療センター:潮・橋本)